

～あの頃の道頓堀にタイムスリップ～ 特別展「道頓堀グリコネオンの変遷とその時代」を開催

江崎グリコ株式会社は、昨年の道頓堀グリコネオン建設80周年を記念して、江崎記念館（場所：大阪市西淀川区）にて、特別展「道頓堀グリコネオンの変遷とその時代」を、2016年5月2日より9月30日まで開催いたします。

特別展では、道頓堀グリコネオンを含めた道頓堀河畔の空間を、初代（1935年建設）から5代目（1998年建設）まで時代毎に再現（ジオラマ化）した模型を設置します。また、道頓堀の歴史年表や懐かしい風景写真などを展示します。

また、これに伴って「グリコタイムスリップ写真館」を新たに導入。懐かしい歴代のグリコネオンを背景に様々なポーズを決めて、まるで当時のグリコネオンの前で撮影したかのようなデジタル加工した写真が撮影できます（有料）。さらに、撮影後に発行するQRコードをスマートフォンで読み取ることで、撮影したデジタル写真がスマートフォンにダウンロードできます。

当館には、特別展以外にも創業時から現在までの歴代おもちゃ4,000点など数多くの社史資料を常設展示しております。ぜひこの機会にお立ち寄りください。

■ 特別展の展示内容

- ・道頓堀グリコネオンと周辺空間の再現模型ジオラマ
- ・「グリコタイムスリップ写真館」
- ・グリコネオンと道頓堀の歴史年表と当時の風景写真などのパネル展示
- ・6代目道頓堀グリコサイン点灯式記録映像



写真：道頓堀グリコネオンの模型展示イメージ（左）と
「グリコタイムスリップ写真館」で撮影した写真イメージ（右）

■ 江崎記念館について

名 称：江崎グリコ株式会社 江崎記念館
 所 在 地：大阪市西淀川区歌島4-6-5
 開館時間：月～金曜日（要予約）、第1・3土曜日（予約不要）
 10:00～16:00（最終入館時間15:30）
 ご 予 約：06-6477-8257
 休 館 日：第2・4・5土曜・日曜・祝日・盆休み・年末年始
 （2016年5月7日（土）は開館いたします）

■ お客様のお問い合わせ先

グリコお客様センター（フリーダイヤル）0120-917-111
 受付時間 月～金 9:00～18:30

■ 本特別展で展示している模型（写真）



初代グリコネオン



2代目グリコネオン



3代目グリコネオン



4代目グリコネオン



5代目グリコネオン

■ 模型展示イメージ



【ご参考】江崎記念館について



江崎記念館は1972年、創立50周年記念事業の一環として、従業員に創業の志を伝え、社業の発展に寄与するため設立したものです。館内には創業以来の江崎グリコのあゆみに関する資料、製品・販促品をはじめ、創業者江崎利一ゆかりの品々を展示しております。展示品の一部は国の近代化産業遺産に認定されています。

*施設の詳細は江崎グリコホームページをご確認ください

<https://www.glico.com/jp/enjoy/experience>

■ 見学に関するご注意事項

- ※ 団体（20名以上）での見学は、事前予約をお願いします。
- ※ 展示フロアは2階です。エレベーターはございませんが1人用イス式階段昇降機を設置しています。
- ※ 施設ではお土産用のお菓子を販売しております。
- ※ 来館者用の駐車場は若干数ご用意がございます。駐車ご希望の方はご来館前にご連絡をお願いします（予約の電話番号へご連絡ください）。



【ご参考】道頓堀グリコサインの歴史

年 代	初代 1935年～1943年	2代目 1955年～1963年	3代目 1963年～1972年
概 要	大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔を建設。高さ33mを誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を6色に変化させ、同時に毎分19回点滅する花模様で彩りました。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。	第二次世界大戦の戦況が厳しくなり、初代は鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後となり2代目が再建されました。 ネオン塔（高さ21.75m）は砲弾型の下部に特設ステージ（高さ5.26m）を持つユニークなもので、そこでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。	ネオン塔（高さ18m、横8m）の中央から、実際に12トンの水が、トレードマークの中心部にある150本の水車状のノズルから噴き出し、12色のランプ400個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水は再びポンプで上のタンクに戻して再利用する仕掛けになっていました。
写 真			

年 代	4代目 1972年～1993年	5代目 1998年～2014年	6代目 2014年～現在
概 要	背景にある陸上競技場のトラック部分のネオン塔を点滅させて、トレードマークのランナーに躍動感を持たせました。日没から午後11時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影する名物スポットになりました。	陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する4つの建物（大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣）が描かれています。また、バックの色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。	これまでのネオン灯に代わり、LEDを採用し、多彩な映像演出によって、ご通行やご観光の皆様楽しんでいただけるようになりました。LED点灯後は、日本やヨーロッパ、アメリカなど5つの地域を走っている動画をローテーションで放映しています。 2016年3月に大阪広告協会 特別賞を受賞しました。
写 真			